

# 福祉産業建設委員会

協議会  
8月1日

## こども誰でも通園制度 来春事業開始



実施場所を確認

**答** 運用を検討する。

**問** 0歳と2歳の両方を預ける場合は、午前、午後に分かれて預けるのは困る。

全ての子育て家庭に対し、保護者の多様な働き方、ライフスタイルによらず支援強化のため創設する通園制度。  
・菱池子育て支援センターで、火、木曜日  
・6カ月から3歳未満が対象  
・午前（1～2歳）午後（0歳）各2時間半



舗装整備前の状況

**答** 建物の価値など調査し、慎重に整備の方向、民間活力の利用など検討する。（その他8項目を協議）

**問** 今後検討が必要なツツジ会館老朽化に対する整備方針を出してほしい。町民は、早い整備を望んでいる。

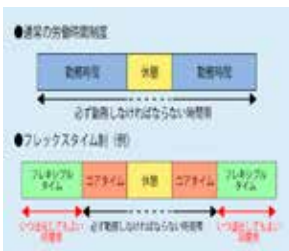
**答** 遊具利用者の安全性、利便性向上のため、インクルーシブ遊具周辺など、ゴムチップ舗装整備を実施。併せてベンチなど休息施設整備。

中央公園遊びゾーンの安全性向上

# 総務教育委員会

協議会  
8月7日

## フレックスタイム制度 が始まる



フレックスタイム解説図

**答** 変更は考えない。

**問** 窓口業務時間帯は変更あるのか。

**答** 範囲で進めていく。

**問** 住民対応サービスが落ちないか。

・令和7年10月1日導入目標

・3交代勤務の消防署職員や保育士などは、利用は認めない。

【目的】 始業時刻と終業時刻を自由に設定できる時差出勤を導入し、仕事と生活の調和を図り効率的に働くため。

【背景】

救急業務に  
マイナ保険証を活用

本町の救急出動件数は増加傾向。救急と医療の連携スピードが喫緊の課題である。

【今後の取り組み】

総務省消防庁から端末を配布され、令和7年10月1日以降事業開始予定。

**問** 高齢者のマイナバー取得状況は。

**答** 把握していない。

**問** 高齢者へのPRをしてほしい。

**答** 広報こうたでお知らせする。

（その他2項目を協議）



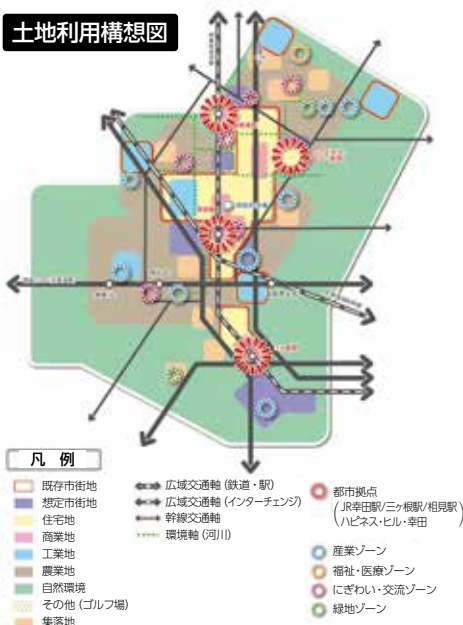
マイナ保険証の準備

# 第7次幸田町総合計画策定特別委員会

協議会  
8月12日

## 第7次総合計画 土地利用構想案示される

土地利用構想図



土地利用の基本方針  
地域特性を踏まえ、

- (1) 自然環境との調和
- (2) 優良農地の保全
- (3) 都市発展の拠点整備
- (4) 地域生活の拠点整備
- (5) 緑豊かな産業空間の創造

に配慮し、自然的、社会的、文化的条件に適合した土地利用を推進する。

(1) 4つの都市拠点  
・ 幸田駅周辺市街地  
・ 三ヶ根駅周辺市街地  
・ 相見駅周辺市街地  
・ ハピネス・ヒル・幸田周辺市街地

**問** 町外からの流入、観光などイメージしにくい。  
**答** 若者に魅力を感じさせる拠点記載、町外からの観光も考慮する。

(2) 4つのゾーン  
・ 産業ゾーン  
・ 福祉・医療ゾーン  
・ にぎわい・交流ゾーン  
・ 緑地ゾーン  
町全体としてコンパクトでまとまりのある市街地形成、ネットワーク整備を進める。

## D X 推進特別委員会

協議会  
8月12日

## 令和8年1月26日から 標準準拠システムに移行



国が策定した自治体DX推進計画及び、標準仕様書に適合したシステムである「標準準拠システム」の導入が義務付けられている。

情報通信システムを活用し、住民の利便性の向上や自治体の行政運営の効率化を図る。

各自自治体20業務のうち「児童扶養手当」「生活保護」の2業務を除いた、「戸籍」「児童手当」「障がい者福祉」など18業務が対象で、各自自治体同様の様式になる。

**問** 本番移行までの準備はどのように。  
**答** 11月末に本番と同じような環境で、移行リハーサルを行う。

**問** 個人情報漏洩対策は大丈夫か。  
**答** 担当職員の操作履歴を常に把握できる体制を作っている。

**問** 標準準拠システムの利便性向上は、どこまで進めるのか。  
**答** 書かない窓口構築及び標準準拠システムとデータ連携する。